



清掃だより
101

平成21年7月15日
福生市
生活環境部
環境課ごみ対策係

ご意見・問合せ
551-1511
(内線2534~5)

(平成20年度標語コンテスト入選作 飯塚 悠月(第七小学校2年)※現在3年生)

レジ袋削減に向けて!

～福生レジ袋削減推進協議会が
市長へ提言書を提出～

福生レジ袋削減推進協議会が、レジ袋削減に向けた方向性をまとめました。協議会には、ごみ問題に関心のある市民、廃棄物減量等推進員の代表、市内事業者、商工会、市役所が参加し、どのようにレジ袋を削減するかを検討してきました。このたび、検討結果がまとまり、市長へ提言書として提出されました。



レジ袋削減の推進について(提言) 福生レジ袋削減推進協議会

はじめに

毎日の暮らしで大量に消費されるレジ袋。レジ袋は石油(化石燃料)を原料に製造され、国内では年間約305億枚が消費され、全国的に見るとそのほとんどが焼却されています。福生市では容器包装プラスチックとして回収され、リサイクルされていますが、運搬、選別、溶解などのために多くのエネルギーが消費され、地球温暖化の原因=二酸化炭素の排出を増大させています。レジ袋は買い物し、自宅まで品物を運び終わった段階でごみになります。もちろん、家庭ではレジ袋を生ごみの処理などに利用される場合もありますが、買い物袋や買い物カゴがあればレジ袋はほとんど必要のないものです。このようにレジ袋は、身近にあることから、市民=消費者が資源のムダになることをしないライフスタイルを変えるきっかけになるものだと思います。

私たち福生レジ袋削減推進協議会は、ごみ問題に関心をもつ市民、廃棄物減量等推進員の代表、市内事業者、商工会、市役所が参加し、平成21年2月からこの問題を検討してまいりました。ここで一定の方向がまとまりましたので提言いたします。

レジ袋の削減、マイバックの普及のためには、市民や事業者の意識変革や省エネ行動の実践が大切になります。そのためには市民、事業者、商工会、市の協働が求められています。今後、この提言を活かした取組みをされることをお願いいたします。

また、福生市が5つの元気の施策を通して輝けるまち福生として発展することを御祈念申し上げます。

平成21年6月30日 福生レジ袋削減推進協議会 会長 川村 寛

レジ袋削減に向けて

1 現状

(1) レジ袋の使用枚数

福生市ではどのぐらいのレジ袋が利用されているのでしょうか。国の試算では、レジ袋は年間305億枚が使用されているといわれます。1人当たりでは、年間234枚となり、福生市の人口が約6万人とすると、市内で約1千4百万枚が使用されていることとなります。その多くはごみになります。家庭から出るプラスチックに占めるレジ袋の割合は約15%です。

(2) 二酸化炭素の排出量

地球温暖化の課題、二酸化炭素(CO₂)の排出量で換算すると、レジ袋1枚あたりのCO₂排出量は約60gといわれていますので、1人年間14kg-CO₂(234枚×60g-CO₂=14,040g-CO₂)を排出することになります。福生市の人口6万人で計算すると840t-CO₂(60000人×14kg-CO₂=840,000kg-CO₂)です。この数字は、一年間で1人が出す排出量の383人分に当たります。

(3) 今までの取組み

このような現状のなかでマイバックを持つ市民の方々は徐々に増えていますが、まだまだレジ袋を利用する市民の方々がほとんどです。ごみ問題に関心の高い市民グループ「ごみ減量化プロジェクト」では、レジ袋の有料化が可能かを店頭で調査を実施しました。このことは、市民の関心の高さを示しています。

一方、市内の事業者でもそれぞれがポイントの付与や割り引きなどを独自に実施しています。

福生市役所でも平成14年度に1万2000枚のマイバックを作成し配布を行いました。また、清掃だより等でレジ袋の削減を呼びかけました。

このようにそれぞれがレジ袋の削減を課題と捉え、独自の取組みを実施してきましたが、連携をとった取組みは行われたことはありませんでした。そのため、レジ袋は目に見えて削減できていないのが現状であろうと思います。

2 課題

(1) 市民

環境問題に意識が高く、常にマイバックを持参している市民もいれば、レジ袋は買い物に付随するサービスと捉える市民、余分にレジ袋を要求する市民もいるそうです。レジ袋削減とマイバックの推進にあたっては、①レジ袋を断り、マイバックを利用するエコ行動の大切さを理解してもらうこと、②マイバックを携帯しレジ袋を断る行動を広めることが課題となると思います。

(2) 事業者

環境問題への取組みが企業として求められる中、事業者としてもマイバックの推進とレジ袋辞退率の向上は、総論としては否定するものではないと思います。しかし、事業者には、競争が付きもので、レジ袋を廃止した場合、レジ袋を配布し続ける近隣の同業他社にお客様を奪われ、売上が激減した例もあります。

自分のお店だけがレジ袋の削減を行うのではなく、地域のお店が一体となって、共通の認識をもち実施することが求められます。

(3) 行政

レジ袋削減の先進的な事例では、事業者(スーパーマーケットなど)と行政との間でレジ袋廃止の協定を結んだり、条例を制定したりする事例もみられます。行政は協議会での検討を受けて、市民、事業者との仲介役として、運動としてのキャンペーンなどの経費を負担することが大切であると思います。

3 具体的な提言

レジ袋削減の現状、課題から今後の対応策を考えると、短期・中期・長期的な視点で取り組むことが大事であり、段階を踏んで実施することによりスムーズなレジ袋削減を実現できるものと考えます。

(1) 短期的な取組み

- * レジ袋削減協力店の募集
- * 福生市で使用されているレジ袋の枚数の把握
- * レジ袋削減のキャッチフレーズの募集
- * 市の広報、ホームページ等によるレジ袋削減運動の紹介
- * ポスター作成及び公共施設などへの掲示
- * のぼり旗の作成及び公共施設などへの設置
- * 横断幕の作成及び公共施設などへの掲示
- * 町会・自治会等への協力依頼
- * マスコミへのPR など

(2) 中期的な取組み

- * レジ袋削減協力店でのレジ袋削減目標の設定
- * のぼり旗・ポスターなどの事業所配布による消費者啓発
- * レジ袋削減協力店での統一キャンペーンの実施
- * レジ袋削減声かけ運動
- * 未登録事業者への参加促進PR など

(3) 長期的な取組み

- * レジ袋削減条例の検討
- * 市民・事業者・行政関係が協働する啓発活動の継続 など

おわりに

この問題を解決するためには、ごみ問題や地球温暖化に関心をもつ市民、事業者、行政が相互に意見を交換し、福生市のレジ袋削減を推進することが大切です。本協議会では5回の会議を続ける中で、この問題の大切さを実感するとともに、課題解決の難しさも知りました。提言では一気に解決するのではなく、短期・中期・長期の取組みに分けて解決の道筋を考えました。これからも、協議会では、協議を継続していきたいと考えておりますので御支援を頂きますようお願いいたします。

レジ袋削減協議会会議経過

	開催日	議題
第1回	平成21年 2月24日(火)	(1)各事業所の取り組みの紹介 (2)アンケート結果及び他市の状況報告 (3)具体的施策の検討
第2回	平成21年 3月24日(火)	(1)レジ袋削減の目標設定 (2)具体的施策の検討
第3回	平成21年 4月28日(火)	(1)レジ袋削減に向けた調査の報告 ア 総括表について イ レジ袋配布店一覧 ウ その他意見について (2)具体的施策(案)の検討 ア 協力店の役割(取り組み) イ 行政の役割(取り組み) ウ 市民の役割(取り組み)
第4回	平成21年 5月26日(火)	(1)レジ袋削減推進の提言書の作成について (2)レジ袋削減推進協議会の今後について
第5回	平成21年 6月23日(火)	(1)提言書の決定

協議会名簿

役員名	氏名	推薦母体
会長	川村 寛	福生市廃棄物減量等推進員
副会長	(株)マルフジ	スーパーマーケット関係
委員	安田 誠四郎	ごみ減量プロジェクト
委員	横田 君子	ごみ減量プロジェクト
委員	佐藤 豊	福生市廃棄物減量等推進員
委員	堀江 佐代子	福生市廃棄物減量等推進員
委員	澤井 夢恵子	福生市廃棄物減量等推進員
委員	(株)ホッタ晴信堂薬局本店	スーパーマーケット関係
委員	C・V・Sちから	コンビニエンスストア関係
委員	セブンイレブン横田基地前店	コンビニエンスストア関係
委員	(株)貫井伊作商店	コンビニエンスストア関係
委員	(株)日本プロカラー	その他、小売店
委員	森田 陽一	福生市商工会
委員	島 弘	環境課長
事務局	環境課ごみ対策係	



会議の様子

レジ袋削減に関するキャッチフレーズを募集します!

レジ袋削減を推進するにあたり、のぼり旗やポスター等を作成しPRします。つきましては、そのためのキャッチフレーズを募集します。

応募方法

ファックス・メール・はがきで、8月15日までに応募してください。
キャッチフレーズと住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記し、
〒197-8501 福生市本町5 福生市役所 環境課 ごみ対策係
FAX 042-552-9433 E-MAIL f-gomitai@city.fussa.tokyo.jp
までお願いします。 ※入選作品には、記念品を贈呈します。

ごみ・資源に関するポスター・標語を募集します

ごみの散乱防止と3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考える作品を募集します。

対象

市内在住在学の小・中・高等学校の児童・生徒

募集区分

- ①小学1～3年生の部 ②小学4～6年生の部
③中学生の部 ④高校生の部

審査・展示

優秀作品は関東甲信越静11都県環境美化推進連絡協議会の主催するコンテストに推薦します。なお、応募者全員には参加賞、また優秀作品には賞状及び記念品が贈呈されます。

また、応募作品は市役所にて展示し、行政の各種広報に使用する場合があります。

規格

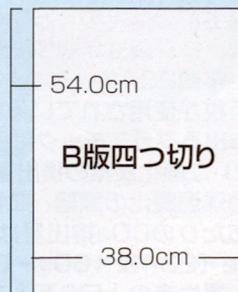
①ポスターの部門
大きさ B版四つ切り(38.0cm×54.0cm)
またはB3版(36.4cm×51.5cm)
画材 クレヨン、水彩絵具等とし、写真その他の材料を貼付しないでください。

②標語部門

官製ハガキ、またはハガキ大の用紙に記載してください。

応募方法

作品の裏面に住所・氏名(ふりがな)・学校名・学年を明記し、9月7日(月)までに市役所生活環境部環境課ごみ対策係(市役所第2棟1階)へ。なお、応募作品は返却しません。



ごみは朝8時までに出してください!

ごみ収集車が回った後にごみを出された場合、その日には収集できません。収集品目や交通事情により収集時間が異なることがありますが、市内全域、朝8時までに出していただくことになっています。



夏休み

親子施設見学会参加者募集!

家庭から出された不燃系のごみがどのように処理されているのか、リサイクルセンター及び最終処分場（日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場）の見学をしませんか。

日時

8月20日（木） 午前8時20分～12時30分まで

集合場所

午前8時20分集合（時間厳守） 市役所北側入口付近（郵便局側）

※会場へは市のバスを使用します。解散場所も市役所です。

見学場所

①福生市リサイクルセンター（不燃物処理施設） 午前8時50分～午前9時35分
②日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場（最終処分場）及びエコセメント化施設
午前10時20分～午前12時00分

対象

市内在住の小学生と保護者

定員

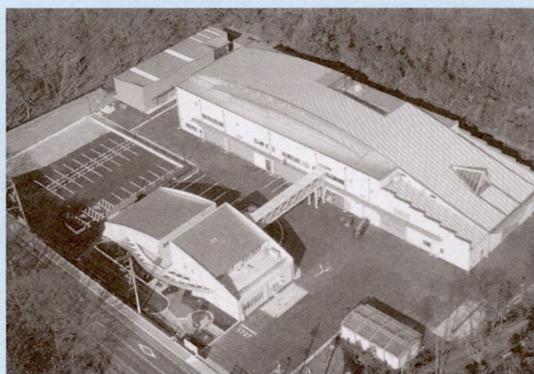
申込先着30人

参加費

無料

申込

7月29日（水）までに電話で環境課ごみ対策係へ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
（電話551-1511 内線2534・2535）



リサイクルセンター



二ツ塚処分場



エコセメント化施設

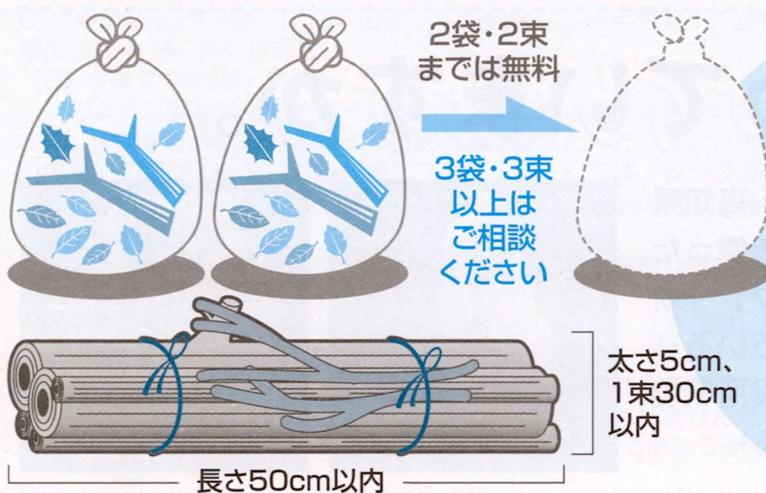
草・枝木・葉の出し方

草・枝木・葉をごみとして出す際は、**指定収集袋以外の袋（中身が見える45リットル相当の袋）で2袋または2束までは、無料で収集します**ので、燃やせるごみの日に出してください。

ただし、3袋・束以上はリサイクルセンターへお申込みください。枝木・葉は、無料で戸別収集し、堆肥化しているものもあります。なお、**草と堆肥化できないものは3袋以上は有料**です。

リサイクルセンター 電話

042-552-1621または042-551-9150



ペットボトルの出し方

飲料やしょう油などのペットボトルは**キャップとラベルを取り除き、必ず水洗いしてからつぶして出してください**。取り除いたキャップとラベルは の表示があるものは容器包装プラスチック、その他は燃やせるごみで出してください。

地域の資源回収に出す場合や、資源回収拠点にお持ちいただく場合も同様です。これからの季節、洗っていないものは、資源として再利用出来ないだけでなく、異臭や虫の発生などの原因となります。皆様のご協力をお願いします。

① キャップとラベルを取り除く。



② 水洗いをした後、乾燥させる。

③ コンパクトにつぶし、高張らないようにする。

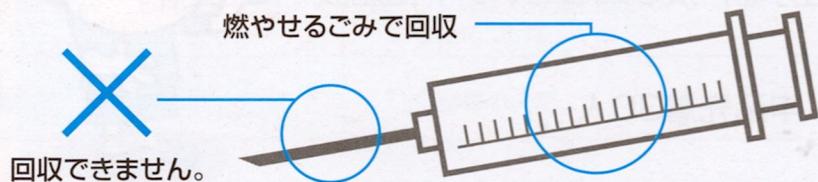


危ないごみは 気をつけてください!

ごみ処理業務の停滞防止、収集・処理作業員の保護のために、適正な分別と排出をお願いします。

注射針

在宅医療に使われた注射針（点滴針）が「容器包装プラスチック」の収集袋に入っていました。医療パックは洗浄後「容器包装プラスチック」で、チューブやプラスチック製注射器本体は「燃やせるごみ」で回収しますが、注射針（点滴針）は危険なため、市では回収できません。針を購入した所か薬局に相談してください。



ガスボンベ、スプレー缶

カセットコンロのボンベやスプレー缶が「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」の収集袋に入っていることがあります。そのため、ごみ処理施設や収集車内で引火し、しばしば火災になります。必ず中身を使い切り、缶・金属の収集日にカゴなどに入れて出してください。



資源抜き取り業者にご注意ください



新聞やカンなどの資源を福生市の名前が入っていない収集車が回収しているのを見たことがありますか。市の大切な収入源である資源を市民の皆さんに無断で転売目的に回収してしまう業者がいます。市でも早期パトロールなどを実施して警戒、注意をしていますが、撲滅するには市民の皆さんの協力が必要です。抜き取り業者を見たときには市へご連絡ください。また、新聞やカンを出すときには「福生市回収」と明示していただきますよう、お願いします。

ごみパトロールを実施しました

5月17日に、福生市廃棄物減量等推進員によるごみパトロールを実施しました。今回は牛浜駅と熊川駅の間のエリアを中心に29名で不法投棄の状況を確認しながら60キログラムのごみを回収しました。

廃棄物減量等推進員は、市長が委嘱し、ごみの適正な処理と減量のため、地域住民への啓発、ごみの分別と適正な排出、資源物の資源化や再利用の促進など、市の施策への協力を行っていただいている市民の方々です。



新聞エコバッグって知っていますか。

古新聞を使ったエコバッグづくりが秘かなブームになっています。高知県の四万十川流域などから全国に広がっています。写真は新聞紙2枚を使った新聞エコバッグです。作り方は、インターネットで「新聞エコバッグ」「新聞バッグ」などのキーワードを入力して検索してみてください。いろいろな形の新聞バッグの作り方がわかります。写真の新聞エコバッグは市役所環境課のカウンターに展示しています。市役所にお出での際はご覧ください。

